

2018年11月上旬配本予定

## 御菓子丸 杉山早陽子『そのときみえるもの』

デザイン:竹廣 倫 / 写真:山本康平 /

定価:1800円+税 / 96頁 / あじろ綴じ / B6変型 / 日英併記

ISBN978-4-907562-16-8 C0077



※トレーシングペーパーを使った繊細な装丁です。



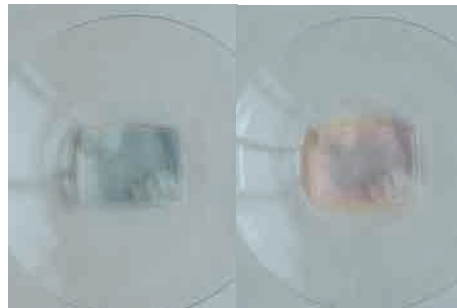
祝福



灯花



薬玉



うつろい



薬箱

和菓子、その小さな宇宙に凝縮された記憶、風景、そして感情を、見ることや食べることを通して体験する。京都を拠点とする御菓子丸の杉山早陽子は、目に見えない感性を和菓子という形へと落とし込み、伝統的な世界に新しい風を吹かせます。

「鉾物の実」という銘のお菓子は、琥珀糖にクロモジがささり、まるで木に御菓子丸の実がなっているかのよう。杉山はこの実を和菓子の原点まで遡り、果実を使って実を表現しようと試みます。そのほかに、時間を経ると色が変化する「うつろい」、風景を閉じ込めるという発想から生まれた「薬箱(くすりばこ)」、ほおずきを灯に見立てた「灯花(とうか)」、草花の芽吹きを玉にした「薬玉(くすだま)」など、儚さや無の境地、あるいは日常や季節のうつろいを愛おしむ感情を和菓子へと落とし込みます。それらの御菓子は五感を通して、私たちの記憶を呼び起こし、そして記憶へと堆積していきます。

本書では、御菓子丸のこれまでの25の和菓子を、それぞれの御菓子についてのエッセイと共にまとめています。御菓子丸の世界をより深く知ることができる思考の源を読みながら、瑞々しい和菓子を目で味わってみてください。

杉山早陽子 (すぎやま・さよこ)  
1983年三重県生まれ。2006年から10年間、和菓子ユニット「日菓(にっか)」として活動。2017年から「御菓子丸(おかしまる)」を主宰しながら、和菓子を制作、展示、販売している。食べたらずくなる当たり前のことに着目し、表現方法としての和菓子に可能性を感じ、京都にて和菓子を学ぶ。鑑賞から食べるまでの行為を一つの体験として捉え、記憶に残る一瞬を和菓子に込めて制作する。

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922**

mail:info@tsubamebook.com

TEL:03-6715-6121 <http://tsubamebook.com>

貴店名(番線印)	新刊 torch press	www.torchpress.net
	注文数	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
ご担当: 様	御菓子丸 杉山早陽子 『そのときみえるもの』	
	ISBN978-4-907562-16-8 C0077 定価1800円+税	